

川畑満里子さん『初手話』（3月13配信）

以前にもお話した初めての手話についてです。

最近、1番下の子が意味はないですが、手話らしい表現をしました。パーで頬をこのように触ります。食事の時に美味しいと使うのではなく、どこでもなにかしたらこの表現をします。意味は分からなくても日常で見ているものを真似しているようです。今はよく頬を触っています。

以前離れた上の子の初手話を覚えていますか。一番上の子はこのように電気の手話です。保育園の帰り道の高架下で見た電気を逆手であらわしていました。

真ん中の子は、お芋でした。私がお芋が好きでそれが欲しくてお芋と表現していました。そして一番の下の子は頬を触る表現をします。これから手話表現が増えるのが楽しみです。